



SEE MORE JESUS • WANTTOSEEMORE.COM

聖書は知恵について何と言っているか?—土台・ストロング番号付きKJV聖句

THE FOUNDATION • THE ORIGINAL STUDY, SET IN THE ANCIENT ORDER

知恵 — 基礎的聖書教理

開会の言葉

誰もが賢くありたいと願うが、神が始められる場所から始めようとする者は少ない。知恵には出発点がある。それは主を恐れることである。古い言葉は知恵をチョクマー(H2451, wisdom)と呼び、その恐れをイルアー(H3374, fear)と呼ぶ。初めから終わりまで、この二つは共に歩む。神はあなたから知恵を隠されない。神はそれを与えてくださる。それは神ご自身の口から出るものであり、神は義人のためにそれを宝のように蓄えておられる。しかし、あなたはそれを掘り出さなければならない。人が銀を掘り出すように。そしてこれをよく注意して見よ。主を恐れることを理解するまでは、神の知識を見出すことはできない。これは知恵に関する基礎的な学びである。それがどこから始まるのか、主を恐れる者にどのような祝福が置かれるのか、その恐れとは何であるのか、そして新約聖書がそれをどのように受け継いでいるのか。すべての言葉を自分の目で読みなさい。それを探り出しなさい。

本研究が答える三つの問い:

1. 知恵はどこに始まり、誰がそれを与えるのか。
2. 主を恐れる者にはどのような祝福があるか。
3. 主を恐れることとは何か、そして新約聖書はなおもそれを教えているか。

ギリシャ語キーワード

“恐れ” — **G5401 phobos** — 畏れ、敬意
主を恐れて歩んだので、諸教会は増えていった

“恐れ” — **G5399 phobeo** — 畏れること、敬うこと
彼を恐れる方がよい

“知恵” — **G4678 sophia** — 知恵
新約聖書に持ち込まれた、その同じ知恵

“震え” — G5156 tromos — 恐れに伴う震え、恐怖による震動
恐れおののきつつ自ら救いを全うせよ

“汚れ” — G3436 molusmos — 汚れ、しみ
肉と霊のあらゆる汚れから自らを清めよ

ヘブライ語キーワード

“知恵” — H2451 chokmah — 知恵、技能;考慮する、識別する、知覚する
主は知恵を与えられる

“恐れ” — H3374 yirah — 畏れ、敬意
主を恐れることは知恵の初めである

“恐れ” — H3372 yare — 畏れること、敬うこと
主を恐れよ、その聖徒たちよ

“理解” — H998 biynah — 理解、識別力
知恵と理解の霊

“知識” — H1847 daath — 知識
神を知る知識を見出す

“健全な知恵” — H8454 tuwshiyah — 健全な知恵、成功に導くもの
正しい者のためにそれを蓄えておかれる

“即座の理解” — H7306 ruwach — 嗅ぐこと、速やかに悟ること
素早い認識をもたらす馴染みのある香り

“憐れむ” — H7355 racham — 同情する、愛する、いたわる
主を恐れる者を、主は憐れみたまう

OPENING ANCHOR(冒頭のアンカー)

詩篇 111:10 主を恐れることは知恵のはじめである。これを行う者はみな良き悟りを得る。主の誉は、とこしえに、うせることはない。

原語キー / STRONG' S: ■ H3374 yirah ・ ■ H2451 chokmah

主を恐れることは知恵の初め → そのすべての命令を行う者はみな良い悟りを得る。

(私の個人的な思い——知恵は主を恐れることから始まらなければならない。他に道はない。そして、良い理解がどこに見出されるかに注目せよ。それは主の戒めを行う者たちのところにある。良い理解とは良い成功であり、それは行うことを通して得られるのであって、聞くことだけによって得られるのではない。)

I. 主を恐れることは知恵の初め

A. イザヤ書 11:2 その上に主の霊がとどまる。これは知恵と悟りの霊、深慮と才能の霊、主を知る知識と主を恐れる霊である。

原語キー / STRONG' S: ■ H2451 chokmah ・ ■ H998 biynah ・ ■ H1847 daath ・ ■ H3374 yirah

その上に主の霊がとどまる = これは知恵と悟りの霊 + 主を知る知識と主を恐れる霊である。

(私の個人的な思い——主を恐れることは霊から始まる。ここでそれは主の霊のものの中に数えられており、主が留まるところにそれも留まる。)

B. イザヤ書 11:3 彼は主を恐れることを楽しみとし、その目の見るところによって、さばきをなさず、その耳の聞くところによって、定めをなさず、

原語キー / STRONG' S: ■ H7306 ruwach ・ ■ H3374 yirah

主の恐れによる速やかな理解 → その目の見るところによって判断せず、その耳の聞くところによって責めない。

(私個人の考え——素早い理解:この言葉はルーアハ(H7306、嗅ぐ)である。慣れ親しんだ匂いが瞬時に認識をもたらすように、主を恐れることは人を素早くする——彼は目と耳がそれを見終え聞き終える前に物事を知り、目に見えることによって判断することがない。)

C. 箴言 2:6 これは、主が知恵を与え、知識と悟りとは、み口から出るからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2451 chokmah ・ ■ H1847 daath

これは、主が知恵を与え→知識と悟りとは、み口から出るからである。

D. 箴言 2:7 彼は正しい人のために、確かな知恵をたくわえ、誠実に歩む者の盾となって、

原語キー / **STRONG'** S: ■ H8454 tuwshiyah

彼は正しい人のために、確かな知恵をたくわえ+誠実に歩む者の盾となって、

(私の個人的な思い——健全な知恵とはトゥシヤー(H8454、健全な知恵)である——堅く立つ知恵、成功へと導く知恵である。人が宝を蓄えるように、主は正しき者のためにそれを蓄えられる。そして主ご自身が、誠実に歩む者の盾となられる。)

E. 箴言 2:4 銀を求めるように、これを求め、かくれた宝を尋ねるように、これを尋ねるならば、

原語キー / **STRONG'** S: ■ H4301 matmown

銀を求めるように、これを求め+かくれた宝を尋ねるように、これを尋ねるならば、

F. 箴言 2:5 あなたは、主を恐れることを悟り、神を知ることができるようになる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3374 yirah ・ ■ H1847 daath

あなたは、主を恐れることを悟り+神を知ることができるようになる。

(私の個人的な考察——いつなのか。それは、あなたが彼の言葉を受け入れ、耳を傾け、知識に向かって呼び求め、人が銀を捜し求めるようにそれを探し求めるときである。その時——それ以前ではなく——あなたは主を恐れることを悟り、神を知ることを見いだすであろう。あなたは主を恐れることを悟るまでは、自分の信仰に知識を加えることはできない。そして、この知恵は正しい者のために蓄えられている。)

II. 主を恐れる者たちの祝福

A. 詩篇 128:1 すべて主をおそれ、主の道に歩む者はさいわいである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3373 yare

主を恐れ、その道を歩む者はすべて幸いである。

B. 伝道の書 12:13 事の帰する所は、すべて言われた。すなわち、神を恐れ、その命令を守れ。これはすべての人の本分である。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3372 yare

神を恐れ、その命令を守ること=人の全き務め。

C. 詩篇 34:9 主の聖徒よ、主を恐れよ、主を恐れる者には乏しいことがないからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3372 yare

主を恐れよ —— 主を恐れる者には何も欠けることがない。

D. 詩篇 103:11 天が地よりも高いように、主がおのれを恐れる者に賜わるいつくしみは大きい、

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2617 checed

天が地よりも高いように=主がおのれを恐れる者に賜わるいつくしみは大きい。

E. 詩篇 103:13 父がその子供をあわれむように、主はおのれを恐れる者をあわれまれる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7355 racham

父がその子供をあわれむように=主はおのれを恐れる者をあわれまれる。

(私の個人的な思索——「憐れむ」はラーカム(H7355、深く同情する)である。すなわち、父がわが子を愛するように、優しく愛することである。これは主を恐れる者たちに与えられる分である——恐怖ではなく、父の優しい愛である。)

III. 主を恐れることは悪を憎むことである

A. 箴言 8:13 主を恐れるとは悪を憎むことである。わたしは高ぶりと、おごりと、悪しき道と、偽りの言葉とを憎む。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3374 yirah ・ ■ H7451 ra

主を恐れることは悪を憎むことである。

B. 箴言 16:6 いつくしみとまことによって、とがはあがなわれる、主を恐れることによって、人は悪を免れる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3374 yirah

主を恐れることによって→人は悪を離れる。

(私自身の思い——まず憎み、それから離れ去る。主を恐れるとは、主が憎まれるものを憎むことである。悪を憎む者は、長くその傍に立ってはいない。)

C. 箴言 19:23 主を恐れることは人を命に至らせ、常に飽き足りて、災にあうことはない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3374 yirah ・ ■ H2416 chay

主を恐れることは人を命に至らせ→常に飽き足りて。

主を恐れることと異言について

A. マタイによる福音書 10:28 また、からだを殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。むしろ、からだも魂も地獄で滅ぼす力のあるかたを恐れなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5399 phobeo ・ ■ G622 apollumi

また、からだを殺しても→むしろ、からだも魂も地獄で滅ぼす力のあるかたを恐れなさい。

(私の個人的な思い——古い言葉ではイラー(H3374、恐れ)と言い、新しい言葉ではフォボス(G5401、恐れ)と言う。言葉は変わったが、恐れそのものは消え去らなかった。あなたの恐れを正しい対象に向けよ。すなわち、身体を殺すことしかできない人間にではなく——魂も身体も滅ぼすことのできる方に向けよ。しかし、その方が誰であるかを忘れてはならない。すなわち、救い主であり、完全に救ってくださる方である。)

B. 使徒行伝 9:31 こうして教会は、ユダヤ、ガリラヤ、サマリヤ全地方にわたって平安を保ち、基礎がかたまり、主をおそれ聖霊にはげまされて歩み、次第に信徒の数を増して行った。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5401 phobos ・ ■ G4129 plethuno

主の恐れの中を歩み、聖霊の慰めの中を歩む+→増え広がった。

(私自身の思い——主を恐れることは増加をもたらす。そして、それがどのような仲間と共にあるかに注目したい。主を恐れることと聖霊の慰めとは共に歩んでいる。それらは互いに対立するものではなく、諸教会は両方を持ち、そして成長した。)

C. コリント人への第二の手紙 7:1 愛する者たちよ。わたしたちは、このような約束を与えられているのだから、肉と霊とのいっさいの汚れから自分をきよめ、神をおそれて全く清くなろうではないか。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3436 molusmos ・ ■ G42 hagiosune ・ ■ G5401 phobos

肉と霊のすべての汚れから自らを清めよう。→神を恐れつつ、聖潔を全うしよう。

(私の個人的な考え——聖さは神への畏れの中で完成する。ここでの汚れとはモルスモス(G3436、汚れ)であり——衣服についた泥のような汚れであり——それは肉体と霊の両方に影響を及ぼす。清めることは私たちが行うべきことである——自分自身を清めようではないか——そして神への畏れの中で、聖さはその完全な完成に至る。)

D. ピリピ人への手紙 2:12 わたしの愛する者たちよ。そういうわけだから、あなたがたがいつも従順であったように、わたしが一緒にいる時だけでなく、いない今は、いっそう従順でいて、恐れおののいて自分の救の達成に努めなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4991 soteria ・ ■ G5401 phobos ・ ■ G5156 tromos

自分の救いを達成せよ = 恐れとおののきをもって。

(私自身の思い——「震え」はトロモス(G5156、trembling)であり、恐れに伴う身震いである。あなたが扱っているのは自分自身の救いである。恐れと震えをもってそれを扱いなさい。)

閉会

箴言 2:5 あなたは、主を恐れることを悟り、神を知ることができるようになる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3374 yirah ・ ■ H1847 daath

主の恐れを理解せよ→神の知識を見出せ。

詩篇 103:17 しかし主のいつくしみは、とこしえからとこしえまで、主を恐れる者の上にあり、その義は子らの子に及び、

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2617 checed

主の憐れみは、主を恐れる者の上に、永遠から永遠まで及ぶ。

(私の個人的な思い——さて、事柄全体をまとめてみよう。主を恐れることは知恵の初めである。主は知恵を与え、正しい者のためにそれを蓄えてくださる。銀を求めるように彼女を探し求める者は、主を恐れることを悟り、神を知る知識を見出す。その恐れとは悪を憎むことである。その恐れは命に至る。それに歩む教会は増し加えられ、聖さはその中で完成される。彼を恐れる者の上に、主の慈しみは永遠から永遠までである。主を恐れることは暗い戸口ではない。それは彼の慈しみへの戸口である。そこから始めよ。)

練習クイズ

1. 詩篇111:10 — 主を恐れることは、次のものの、はじめである:
 - a) 知識
 - b) 悟り
 - c) 知恵
2. マタイの福音書10:28 — むしろ、滅ぼす力のあるかたを恐れなさい:
魂もからだも地獄で
 - b) 身体は殺せても、たましいは殺せない
 - c) 魂であって、肉体ではない
3. 箴言2:4 — 銀を求めるように、これを求め、かくれた宝を尋ねるように、これを尋ねるならば、
 - a) 精金
 - かくれた宝
 - c) 宝石
4. 箴言 2:6 — 主が知恵を与え、み口から出るのは:
 - a) 知恵と教訓
 - b) 助言と力
 - c) 知識と悟り
5. 箴言 8:13 — 主を恐れるとは:
悪を憎む
悪から離れること
 - c) 悪を恐れる
6. 使徒9:31 — 主をおそれ聖霊にはげまされて歩み、教会は:
 - a) 大きくされた
 - b) 散らされた
 - c) 数を増して行った
7. 伝道の書 12:13 — 神を恐れ、その命令を守れ。これは:
 - a) 知識のはじめ
 - 人の本分
 - c) 賢者の結論

解答:1-c、2-a、3-b、4-c、5-a、6-c、7-b

このスタディの分岐

→ 二つの始まりの出会い:箴言1章7節は主を恐れることは知識の始めであると言い、箴言9章10節はそれが知恵の始めであると言う
——この二つの始まりを並べて、その違いを探り出さない。

一つの章全体がそれを探求する様子:ヨブ記28章は知恵はどこにあるかと問い、主を恐れることが知恵である、という言葉で終わる(ヨブ記28:28)。

今、宝がどのように隠されているか。隠された宝を求めるように、これを尋ね求めよ(箴言2:4)は、その中に知恵と知識のすべての宝が隠されている方(コロサイ2:3)へと導かれる。

枝の上に霊が留まる様子:知恵の霊が彼の上に留まる(イザヤ11:2)—知恵の霊が留まる者を探し求めよ。

知恵が欠けているなら、それを得る方法:もしあなたがたのうちに知恵の欠けている者があれば、すべての人に惜しみなく、とがめることなく与えられる神に願いなさい。そうすれば与えられるでしょう(ヤコブ1:5)。

SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE_LEGAL_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only,

never altered -- pipeline.VERBATIM_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.

Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEP Bible TVTMS (CC BY 4.0).

Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEP Bible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0); Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).

Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).

© SEE MORE JESUS • wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).